

インクルーシブフットボールフェスタ Ibaraki 2022の実施に向けたガイドライン

《活動にあたっての留意点（手引き・チェックリスト）》

茨城県サッカー協会インクルーシブ委員会（以下当委員会）は、以下の内容を踏まえつつ個別にチェックリストを作成し、感染防止策に取り組むこととする。

1. 事前の対応

当委員会は、実施会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、参加者に対し、感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求める。

当委員会はそれぞれ感染対策責任者を設置し、イベント等の事前、当日、事後に相互に連絡を取り合える環境を構築する。

参加者への連絡事項

- (1) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせ（イベント等の当日に健康チェックシートにて確認）
 - ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) プレー中以外の参加者全員のマスク着用
- (3) 当委員会が示す注意事項の遵守
- (4) イベント等終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告
- (5) イベント等に参加中、誰とどのくらいの距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど、他人との接触状況の記憶（感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます。）

2. 会場における感染防止対策

当委員会は、以下の点に留意してイベントの運営、会場の設営等を行う。

- (1) イベント関係者の体調チェック体制
 - ・イベントに関係する全員の体調チェックを実施する。
 - イベント運営スタッフ、選手、付き添い等で来場する方、全員に健康チェックシートを配付し、イベント当日、本部に提出してもらう。
 - 参加者は、イベント当日、付き添い等で来場する方、全員の健康チェックシートをとりまとめ、本部に提出する
- (2) トイレ・手洗い場所
 - 感染リスクが比較的高いと考えられることから、参加者や関係者が手洗いをこまめに行

えるよう、以下の対応を行う。

- ・手洗い後に手を拭くためのハンカチ・タオルは使い回しをしない。
- ・アルコール消毒液を設置する。

(3) 選手等参加者が競技・トレーニングする際の留意点

当委員会は、選手等の参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底する。

- ・感染予防の観点から、競技・トレーニングをしていない時間（ミーティングや休憩中）は周囲の人となるべく距離（2m が目安）を空け、十分な距離を確保すること。（介助者や誘導者の必要な場合を除く。）
- ・競技・トレーニング中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- ・タオルの共用はしないこと。
- ・飲水はペットボトルやビン・缶、使い捨ての紙コップ等で個別に準備すること。
- ・飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- ・飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと。

(4) メディア対応における注意事項

- ・イベントを取材するメディアに対しても、Ⅰ.事前の対応「参加者への連絡事項」に記載されている内容を遵守するように事前に伝える。
- ・できるだけ短時間で取材を終えるよう、取材者に対して事前に依頼する。
- ・健康チェックシートを事前に送付し、当日受付で提出してもらう。

(5) ゴミの廃棄方法

- ・参加者で責任を持って持ち帰る。
- ・ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用する。
- ・ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄する。
- ・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をする。

(6) 付き添い等で来場する方について

付き添いで来場する方については、健康チェックシートを配付し、記入・提出まで確実に行うこととする。観戦に当たっては、ソーシャルディスタンスを確保し、感染リスクを低減することを心がける。感染リスクの低減を促す言葉がけをするとともに、本部でも、放送等で同様の要請をアナウンスする。

(7) その他

これら(Ⅰ)～(Ⅵ)を実施しても感染リスクをゼロにすることはできないので、当委員会は、その点を理解した上で、イベント等の実施や参加をするとともに、関係者への周知を行うこととする。

また、特に夏場においては、参加者全員にマスク着用を義務化することにより、熱中症を発症するリスクが高まることから、こまめな水分補給を心掛けること。

3. 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会等当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートを、保存期間（少なくとも1ヶ月）を明記した上で保存する。

また、イベント等終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておく。

※健康チェックシートへの記載事項

①氏名、年齢、住所、連絡先（※個人情報の取扱いに注意）

②イベント等当日の体温

③競技会前2週間における以下の事項の有無

- ・平熱を超える発熱・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
- ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）・臭覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合